

発言No. 17

受付No. 2

令和4年6月3日

8時52分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 10番

氏名 串崎 利行

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 農業の振興について

(1) 新規就農者への支援について

- ① 農家減少への危機感が背景にあり、農林水産省が2022年度、新規就農者への支援を刷新し、就農者の機械や施設などの導入、また、就農者の資金を交付すると聞くが、何がどう変わるのか状況を伺う。

(2) 農業人材の多様化について

- ① 全国的な労働力不足を背景に、農業でも多様な人材の登用が求められている。貴重な働き手として農村地域を支えているのが、50歳以上の中高年層であり、農業の生産基盤を強化するには、中高年層に加え、若者や女性、障がい者、外国人実習生などの多様な人材が欠かせないと感じるが、市の考えを伺う。

(3) 農的関係人口について

- ① 地域農業の応援団を増やし、人手不足にも対応し、将来的には移住や就農につながることも期待される。自治体や農業団体などには、こうした「農的関係人口」を創出する仕組みづくりが求められると思うが市の考えを伺う。

(4) 有機農業の拡大について

- ① 農業の環境負担低減に向けた「みどりの食料システム戦略」をきっかけに、有機農業が注目され、国は、2050年までに全耕地の25%に当たる100万ヘクタールに拡大すると掲げている。中山間地などの立地条件、法人経営、家族農業など、多様な農業形態があり、有機農業の取組が難しく感じるが市の考えを伺う。

2 地方公務員の副業について

- ① 人手不足を背景に地方公務員の副業が広がっており、副業には自治体の許可が必要と聞いている。社会貢献につながる副業をしやすいよう環境整備を進める自治体もあるが、市の考えについて伺う。
- ② 現在副業の実績があれば、状況を伺う。
- ③ 浜田市には、職員の地域活動等の表彰制度があり、各種の地域活動や社会貢献活動に積極的に参加する職員を表彰し庁内に周知等を行うことにより、さらに多くの職員の地域活動等への参画を促すとある。今までの実績や現在の状況を伺う。

発言No. 18

受付No. 10

令和 4 年 6 月 7 日
9 時 07 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 17 番

氏名 永見 利久

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 住宅環境整備について

(1) 周辺部の住宅事情・住宅環境について

① 周辺部の地域を守る、まちづくりの観点での住宅環境についての認識を伺う。

2 6月5日実施の浜田市総合防災訓練について

防災訓練テーマ、水害・土砂災害における防災活動の訓練について、以下のとおり質問を致します。

① 防災訓練への参加団体及び住民の参加率について伺う。

② 災害対策本部運営訓練及び情報伝達訓練について伺う。

③ 各地域での、自主防災組織及び町内会等の避難情報伝達訓練の内容について伺う。

④ 避難実動訓練について伺う。

⑤ 高齢者や避難要支援者の避難訓練の参加について伺う。

⑥ 今回の住民主体の防災訓練、各地域における防災活動の成果と課題について伺う。

3 消防火災予防について

① 防火対象物における消防用設備設置に対する防火管理体制の指導や、防火安全対策について伺う。

② 避難行動要支援者の住宅防火対策の取組について伺う。

4 安心して暮らせるまちづくりについて

① 児童生徒の通学路の安全確保のための整備が進められているが、状況を伺う。

② 昨年度の台風9号、その後の大雨による被害の復旧状況について伺う。

③ 中山間地域の高齢者の方への買い物や通院支援としての、あいのりタクシー運行事業について、現時点での状況を伺う。

発言No. 19

受付No. 20

令和 4 年 6 月 7 日
10 時 52 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 9 番

氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 防災について

(1) 防災訓練について

- ①今年度は住民参加型の訓練が実施されました。地区ごとに工夫をされて行われたと思いますが、今回の訓練の成果と先進事例があれば聞かせたいと思います。
- ②災害弱者と言われる子どもや高齢者、障がい者を巻き込んだ訓練が大事だと思いますが、今回の訓練ではどのような対応が行われたのか伺います。

(2) 防災行政無線について

- ①現在、防災行政無線の更新に係る整備が進められていると思いますが、ケーブルテレビ回線を活用した防災情報システムの構築と併せて、スマートフォンアプリも併用して整備するとされていました。ケーブル回線撤去工事の完了が令和8年度とのことでしたが、本格的な利用開始はいつ頃になるのか伺います。
- ②訓練当日は地域の草刈りなどが実施され、屋外におられた方も多かったと思いますが、防災行政無線の屋外子局の音が聞こえず心配する声がありました。屋外子局の設置状況と現在の設置場所や設置数で問題がないのか伺います。
- ③避難場所への防災行政無線受信機設置の必要性和設置状況を伺います。

2. 環境問題について

(1) 地球温暖化対策推進法の改正について

- ①この法改正により、市町村に対しても再生可能エネルギーの導入目標や、住民による温室効果ガス削減活動の促進などの目標開示が求められるとのことですが、浜田市としてどのような対応を考えられているのか伺います
- ②自治体は温暖化対策の促進区域を制定する努力が求められ、促進区域では、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギー事業者に対して、許認可手続きのワンストップ化や環境影響評価（環境アセスメント）が簡略化されるメリットが与えられるとされています。促進区域の制定についての考えを伺います。
- ③この促進区域での再生可能エネルギー事業について、自治体が経済合理性や地域環境への影響を分析した上で、地域住民の合意を図る必要があるとされ、災害時の電力供給による地域へのメリットや自治体の関与を通じたトラブル回避を目指して、地域の理解を踏まえた円滑な事業運営を行う制度とあり、これまでの市の関わり方よりも踏み込んだ姿勢が求められているように感じますが、市としての捉え方、対応の方針を伺います。

(2) ごみ分別アプリの活用状況について

- ①アプリの活用が進むことを期待しておりますが、現在の登録状況を伺います。
- ②現在の機能以外の活用として、地球温暖化対策を視点に置いた、様々な情報発信が可能なのか伺います。

(3) 食品ロス削減について

これまで食品ロス削減についての質問を2回行わせていただいておりますが、改めて確認をさせていただきたいと思います。

- ①30・10運動の推進については、平成28年6月定例会後に市長がすぐに呼びかけをしてくださったことを記憶しております。この食べ残しを減らす取組は個人個人の意識と併せて、宴会の主催者の呼びかけが不可欠だと思っています。特に事業所等の宴会については企業への働きかけが重要と思いますので、商工会議所や商工会等との連携が図られているか伺います。
- ②個々の家庭での削減については、買いすぎない、作りすぎない、保存方法の工夫などの様々な取組があると思います。浜田市では現在どのような働きかけが行われているか伺います。
- ③フードバンク・フードドライブの活用状況を伺います。

発言No.

20

受付No.

4

令和 4 年 6 月 6 日

8 時 55 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 19 番

氏名 田畑 敬二

答弁を求める者 ○市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) ○農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 農地の一時転用の考え方について

- ① 一定期間内で一時的に農地を耕作以外の目的で使用する場合は、農地法4条・5条の申請が必要であるが、課税への連携の考え方を伺う。
- ② 一時転用であるため期間が設定されているが、転用の開始の手順を伺う。
- ③ 一時転用の終了の手順を伺う。

2 東部・西部消防署設置後の考え方について

- ① 平成27年4月に東部消防署(金城・旭)・西部消防署(三隅・弥栄)を設置されたが、今後の移転統合について伺う。
- ② 消防・救急体制の充実を図る上で、何が重要か伺う。
- ③ 今後10年で、消防職員約60名が定年退職を迎えるが、今後の消防体制についてどのような考えか伺う。
- ④ 消防法の改正による、住宅への火災警報器の設置義務付けから10年以上経過するが、浜田消防署としての対応を伺う。

発言No.

21

受付No.

7

令和 4 年 6 月 7 日
8 時 37 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 22 番

氏名牛尾昭

答弁を求めるもの

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 ゆうひパーク浜田の課題と将来展望について

過去を振り返って見ると、平成4年、春頃、ゆうひパーク浜田の社長と専務予定者が、面談をしたいと申し入れがあり、当時の経済委員会委員長と副委員長の私が応対致しました。お二人とも会議所の先輩方でした。ゆうひパーク浜田構想は、素晴らしい大構想で、障がい者雇用も含まれておりました。熱く語られる言葉の中に、民間で先んじて頑張るので、については、三セクでないとは占有出来ないのでは、出資してほしい。いや、出資すべきだとの要旨でありました。熱心な語りと強い口調に、違和感を覚えたのを、いまだに覚えています。その後、平成17年に民事再生法をめぐり、内部で争いがあり経営不振が表面化しました。平成19年6月議会で、事業再生計画に基づく市の支援策が承認され2億円の無利子融資などが実行されました。この6月議会での反対討論、賛成討論を再度読み込んでみました。反対討論では、障がい者雇用の視点が抜け落ちている。売り上げ回復が難しい。賛成討論では、島根県中小企業再生支援協議会がまとめた計画であるとのことでした。私は、議長席におりましたので採決に参加していません。次に、24年9月議会では、2億円の10年延長する補正予算が上程されており、前回反対された議員が、厳しく指摘をされ、当時の部長は、償還延期は再生計画の破綻に繋がると答弁されています。次に、私は再生機構がここまでやったし、保証人もとる、監査を入れることで賛成多数で可決したが、5年経って裏切られたと指摘をしました。再生機構の再建策の肝は、ベーカリーを呼び込むとのことでしたが、実現しませんでした。ここまでが前市長時代の流れです。今回、2億円の内3千万円が残る段階で買い取り依頼がありましたが、以下質問します。

(1) 買取依頼という課題について

- ① 先ず、市長の見解を問う。
- ② 周辺地域の整備に相当なコストがかかっているがトータルの金額を問う。
- ③ 今議会に、不動産鑑定が上がるが、耐震化を問う。

- ④現在の施設を見てみると、閉鎖している空間が多い。どの様に考えるのか。
- ⑤公共施設再配置との整合性を問う。
- ⑥一連の流れを受けて、3セクのトップの責任についての考えを問う。
- ⑦障がい者雇用についての現状認識を問う。

(2) ゆうひパークの将来性について

- ①市長の見解を問う。
- ②令和のゆうひパーク再生計画を問う。